

平成27年 年頭のご挨拶

全社一丸となり
明るい未来を切り拓こう

全日本一般缶工業団体連合会 会長
西日本一般缶工業協同組合 理事長

渋谷 明彦

年頭挨拶



新年明けましておめでとうございます。

皆様には、ますますご健勝で新年をお迎えになられたことと存じます。

また、平素は当連合会に對しまして多大なるご支援、ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

昨年末には、衆議院の解散総選挙が行われ、政権与党が圧勝し、安倍政権の経済政策「アベノミクス」が継続されることになりました。一方、消費増税に伴う駆け込み需要の反動減の長期化や急速な円安による諸物価の上昇などにより、中小企業にとりましては予断を許さない状況が続いています。本連合会では、昨年より「キャンバック・イノベーション」をスタートさせ、一般缶の良さを広く社会に発信する事業を積極的に進めています。

今年もオリジナル浮世絵クッキー缶の開発や女性消費者とのコミュニケーション活

動である「ほわっと・カンカンコミュニケーション」などに果敢に取り組み、一般缶の明るい未来を切り拓く挑戦を続けてまいります。最近、エアバッグの不具合や食品への異物混入等の報道が相次いでいますが、製造者責任と食品の安全・安心の問題についても基本に返って見直しましょう。

お客様に「ああ、こんな缶っていいなあ」「こんな値段だったら、買ってみたいなあ」と思い起こしてもらえような「ものづくり」のロマンを追い続けましょう。

今年は、互いに譲り合い、親しく和する「互譲親和」の精神で全社一丸となつて邁進しましょう。

結びに、皆様にとって良い年になりますよう祈念いたしまして新年のご挨拶いたします。

景気回復の牽引役としての
行動を期待

経済産業省製造産業局

鉄鋼課長 山下 隆也

年頭所感



平成27年の年頭に当たり、謹んでお慶びを申し上げます。

安倍内閣の発足から2年が経ちました。昨年は、アベノミクスの「三本の矢」の効果が経済全般に徐々に浸透し、雇用創出、企業収益改善といった点で経済の好循環が生まれ始めた1年でした。鉄鋼業においても、消費税増税による需要の反動減等があったものの、全体としては、底堅く推移した年であったように思います。

我が国の経済の回復を図る上で、多くの雇用を創出して地域経済を支えるとともに、様々な産業に必要な基礎素材を供給する鉄鋼業界の果たす役割は大きく、景気の本格回復に向けた牽引役となつていただくことを期待しております。

私どもといたしましても、本年が鉄鋼業界にとって、更なる回復、成長の1年となるよう、引き続き、内需、外需双方の拡大に向けて、以下の点を特に意識した上で、成長戦略を着実に実行してまいります。

第一は、「経営環境の改善」です。アベノミクスの第3の矢は、制度改正等により企業が真の力を発揮できる社会を目指すものです。政府としては、法人実効税率の引き下げなどの税制改正等により、イコールフッティングな事業環境の整備に取り組んでまいります。皆様におかれましても、業績が回復した分についてはしっかりと設備投資や賃金上昇として還元し、経済の好循環に寄与していただくとともに、適正な価格転嫁等の実施により取引環境の適正化に努めていただきますようお願いいたします。こうした取組が、経営環境の中長期的な維

持、改善に資するものと考えております。

第二に、「安全第一主義の徹底」です。残念ながら昨年は鉄鋼業界において重大な産業事故が相次ぎました。産業事故が被災者、事業活動、社会に与える否定的影響の大きさを鑑みると、安全・保安確保は、企業経営において最も優先されるべきものです。経営者から現場の担当者まで、企業全体の皆様が高い意識を持って取り組んでいただく必要があると考えております。経済産業省としても、関係各省と連携しつつ、業界と一体となり産業事故の防止に努めてまいりますので、より一層、安全第一主義を徹底いただこうお願いいたします。

第三に、「エネルギー・環境問題への対応」です。我が国鉄鋼業は、皆様の御努力により、既に世界最高水準のエネルギー効率を誇っており、省エネ・CO₂排出量削減の余地は乏しい状況です。しかし、こうした中でも、電気料金値上げへの対応や地球温暖化の対策として、更なる取り組みが求められております。私どもも、省エネ補助金の拡充を通じ積極的な省エネ投資を支援するとともに、高炉法の製鉄プロセスにおけるCO₂排出の抜本的削減を目的とした環境調和型製鉄プロセス技術開発を確実に進めることなどにより、各企業の地球温暖化対策を支援してまいります。加えて、他国のCO₂排出量削減についても、我が国の協力が明確に見える形での貢献を目指し、省エネ技術や鉄鋼CO₂排出量原単位計算方法（ISO14404）の海外への普及に取

り組んでまいります。

第四に、「自由貿易体制の維持」です。中国・韓国メーカー等の設備増強を背景とした世界的な過剰供給により、通商摩擦が頻発し、鉄鋼製品に対するアンチダンピングやセーフガード措置の発動、強制規格の導入などの保護貿易的措置も増加しています。引き続き、OECDや二国間協議の場で問題提起を行い、自由貿易の重要性を各国に訴えるとともに、保護貿易的措置の背景にある過剰能力問題の是正、原料の安定的な供給確保や戦略的な国際展開に向けた環境作りに向け、取り組んでまいります。

第五に、「技術的優位の確立」です。素材技術の進化は、最終製品の国際競争力の強化にも繋がるものであり、製造業全体の発展に不可欠なものであると考えております。我が国の鉄鋼業界が、諸外国の追い上げが勢いを増す中で競争力を維持していくためには、更なる技術力向上を図る必要があります。経済産業省としては、企業の営業秘密の保護を強化しつつ、自動車等の抜本的な軽量化を目指す革新的新構造材料に対して引き続き技術開発支援することで、我が国鉄鋼業の技術的優位の確立に寄与してまいります。

最後に、電力需給の安定やCO₂排出量の削減のためのご協力に感謝申し上げますとともに、鉄鋼業界のますますのご発展と、皆様方のご健康、ご多幸を祈念いたしまして、私の新年のご挨拶といたします。

「格差社会」を 乗り越えて行動しよう

東日本一般缶工業協同組合

理事長 定村 光

年頭挨拶



新年明けましておめでとうございます。皆様方には、ご健勝で新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年一年を振り返ってみますと、年末の衆議院選挙に与党が圧勝して、安倍政権は盤石になった感があります。しかし、経済は輸出中心に伸びましたが、円安などの要因もあり、国内産業はまだ厳しい状況にあり、景気回復の実感はまだ先の話であります。

又、景気回復とはいっても、大企業と中小企業、東京と地方では大分温度差があるように感じております。アベノミクスによる経済政策は格差をむしろ増幅しているようにも思われます。この問題は日本だけでなく「格差社会」の問題を論じたトマ・ピケティの『21世紀の資本』がベストセラーになるなど、先進国の共通の問題となりつつあります。高度経済成長期のような大部分の企業の景気が一律によくなることは2

度とこないのではないかと。経済の構造自体が完全に変わってしまったことを強く感じます。

今、私たちの現実には、「格差社会」になりつつある日本の状況で、私たちがこれにいかにか乗り越えていくか試されているのではないのでしょうか。現実をしっかりと見据えて行動してゆかねば、業界自体が取り残されてしまう危機にあるといえます。私たちは組合活動を通じて「一般缶」をどう改善していけばよいか、しっかりと考えに基づき組合員の皆様、関係団体の皆様に発信してまいりたいと思っておりますので、皆様のご理解とご協力を切にお願い申し上げます。

最後に本年が業界にとっても、また皆様にとっても「前進の年」であることを祈念いたしまして新年のご挨拶といたします。

缶の良さをアピールし 業界に好結果を

中部製罐工業協同組合

理事長 池田 祥三

年頭挨拶



新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

ご高承の通り、一昨年暮れに発足した安倍政権の大胆な経済政策によって、ここ1年あまりの間、株式相場の活況や、為替の大変動で円安の恩恵を受けた業界・企業も多々あります。

しかしながら、我々内需を礎とする企業は、ほとんど蚊帳の外に置かれ、世界がグローバル化する中でますます厳しい環境にさらされているのが現状ではないでしょうか。

さらに大方の予想通り、昨年の4月から消費税の増税後の消費の落ち込みが続き、苦しい状況になっています。

昨年は落馬しないように手綱をしつかり握っていましたが、今年は「辰巳天井 午尻下がり 未辛抱 申酉騒ぎ……」の格言のように、未年は辛抱の年になるかもしれません。

それでも私どもは連合会の一員として一般缶普及啓蒙活動に協力し、缶の良さをアピールし、そしてアベノミクスが我が業界にも好結果をもたらしてくれますよう願っています。

最後になりましたが、組合員会社・賛助会員会社の皆様並びに関係する業界の皆様の今年ますますのご活躍とご多幸を心から祈念いたし、また更なるご協力とご指導をお願い申し上げます、新年のご挨拶といたします。

連携を深め 需要拡大に努めます

全日本金属印刷工業協同組合連合会

会長 中田 正和

年頭挨拶



新年を迎え、謹んでお慶び申し上げます。皆様におかれましては、日頃より格別なご高配を賜り、誠にありがとうございます。

さて、昨年の経済を振り返りますと、アベノミクスの「3本の矢」の効果が経済全体に浸透し雇用創出、一定の企業収益向上による好循環が生まれた始めた一年でした。しかしながら、輸出中心の大企業への効果はありましたが、昨年4月の消費増税以降、実質賃金は低下し、個人消費は低迷しております。そして、急激な円安により原材料高及びエネルギーコストの高騰が進行し、我々中小企業の収益は圧迫されており、先行きに危機感を深めております。

日本の将来を見据えた時、国内では、現在進行している少子高齢化社会の到来は年金受給問題を引き起こしております。近い将来一人の老人の年金を二人の現役が、更には一人が担わなければならない時代が来るそうです。この他にも原子力問題の対応、

震災の復興の迅速化、また総合的なエネルギーコストの対応等課題は山積しております。さらに、隣国との困難な政治的問題の対処、世界的にも温暖化対策、ウクライナ問題、イスラム国対応等不安材料がこれほど多い時代は今までになかったのではないのでしょうか。

そうした中、我が国は過去のオイルショックを省エネ技術で乗り越え、今ではその技術を世界に輸出することで飛躍してきました。苦難に出会いそれを乗り越えることによってピンチをチャンスに変えてきたわけです。

この少子高齢化社会も日本が一番早く進行しています。これを乗り越えることによってまた新しい社会が開けていくのではないのでしょうか。また、その方策が世界の模範となることを願っております。

我々金属印刷業界も、体質改善に努め皆様との連携を深め、一緒になって缶の需要拡大に努めていく所存です。

最後になりましたが、本年が一般缶業界の皆様にとって実り多き年になりますよう祈念して、新年のご挨拶とさせていただきます。



缶製品の消費拡大に努め さらなる飛躍を

東京都鋳力地金商業協同組合

理事長 國分 滋

年頭挨拶



新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、お健やかに新年を迎えになられたことをお慶び申し上げます。

当鋳力地金組合は『ブリキ問屋』として六十有余年、一般缶組合の皆様を支えられ、今日に至っております。これも偏に皆様のご支援によるものと、深謝する次第です。

昨年十二月に安倍政権の経済政策である『アベノミクス』継続の是非や安全保障政策など同政権の評価を問う衆院選が実施されました。結果は与党が勝利し、『アベノミクス』は継続されることとなりました。安倍政権の二年間では株価の上昇・円高は正・賃金の上昇と、一見すると景気が良くなったように思われますが、円安による輸入原料の価格上昇、物価上昇による実質賃金の下落等、必ずしも公平に景気回復の恩恵をもたらしたとは言えない点もあります。これから新たにスタートする新安倍政権は『景気回復を日本の津々浦々まで』と言っ

ておりますので、その言葉通り、本当に日本中の景気が回復し、缶の消費拡大に繋がることを期待しております。

ところで、缶製品を選ぶためにデパート等に行くと、殆どの陳列品に蓋がついておらず、ブリキ缶か否かを見極めるのに苦慮します。デパートや商店では中身を売ることを目的としているため、蓋を外さざるを得ず、折角美しく印刷されたものも確認できません。また、缶製品そのものを見つけるのも難しい現状です。一般缶組合のホームページ等で缶製品の一覧が検索できれば、消費拡大に寄与するのではと思考する次第です。

引き続き一般缶組合の皆様とともにブリキ缶消費拡大のお手伝いができるよう、努めてまいります。

本年が一般缶組合の皆様にとって飛躍の

年となるよう祈念して、新年のご挨拶とさせていただきます。

活気ある未来に向け 一致団結を

一般缶友会

会長 齋藤 光由



年頭挨拶

新年明けましておめでとうございます。

昨年は一般缶友会の行事も皆様のご協

力により活気ある一年で過ごすことができました。

さて、年始め、今年は乙未にあたる年です。さらなる大きな構造変化の潮流の中にありますが「迷える子羊」「羊頭狗肉」に欺かれることなく未の字のように変化の本質を見抜きスピード感のある、しっかりとした舵取りが必要と思われます。そのためには我々缶業界が一致団結し、缶の市場をアピールし、ニーズに対応していくことがさらに重要であると思います。一般缶友会も「未」の字のように明るく活気ある未来に向かっていく吉年にしましょう。

本年も皆様方のご協力のもと証券取引所のカーン・カーン・カーンと同様にCAN・CAN・CANと進みましょう。

組合新春懇親会開催

西日本一般缶工業協同組合

西日本一般缶工業協同組合は平成27年1月13日、大阪市梅田・ホテルグランヴィア大阪で新春の組合互礼懇親会を開催、組合員会社など14名が出席した。

冒頭、渋谷理事長は「今年は昭和から90年。未年で60年前の出来事に、自由民主党の創立や後樂園ゆうえんちの誕生などがある。今年1月17日は、阪神淡路大震災から20年を迎える節目の年でもある。近年、日本全体で格差が大きすぎるのではないかと考えている。景気は東京の方が華やかなので「東高西低」のような気がする。こうした厳しい環境の中でも企業人として、『こんな缶だったら買いたい』と思ってもらえるような缶容器を提供したい。お客様が何を求めているのかという基本に立ち返り、経営を改革し、缶づくりに専念することで何とか関西を盛り上げていきたい」と挨拶した。続いて乾杯し和やかな懇談ののち、辻副理事長の閉会挨拶で盛会裡に散会した。

東京都中央会会長表彰

東日本一般缶工業協同組合 加島理事、澤田理事が受賞

平成26年10月14日、東京丸の内・東京商工会議所ビルの国際会議場で、東京都中小企業団体中央会主催の表彰式が開催された。この表彰式は長年にわたり中小企業組合の向上発展に寄与した功労者に同会長が表彰するもの。今回、東日本一般缶工業協同組合の加島裕理事、澤田武史理事が受賞し、大村功作同会会長から表彰状と記念品が授与された。



受賞後、喜びの加島理事(右)と澤田理事

渋谷会長

「互譲親和」の精神で缶づくりにまい進

全日本一般缶工業団体連合会は1月16日、浜松町東京會館で平成27年新年賀詞交歓会を開催し、所屬員会社、特別会員、特別賛助会員、一般賛助会員、協力会員、賛助会員、協賛会員など176名が出席した。

冒頭、渋谷明彦会長は「今年は昭和から数えて90年、節目の年は何か大きなことが起きそうな気がする。昨年は『キャンパックイノベーション元年』を合い言葉にしてきたが、今年は互いに譲り合い、親しく和する「互譲親和」の精神で缶づくりにまい進していきたい」と挨拶した。

来賓を代表し、経済産業省製造産業局鉄鋼課の山下隆也課長は「私が着任した昨年7月4日に開催された一般缶イノベーションフォーラムに前任の山下隆一課長に代わりパネリストとして急きょ参加させていただき、私にとって印象深い」と前置きし、「昨年末からの政府の取り組みを2つ紹介したい。1つ目は税制改正大綱が決まり平成27年度の法人実効税率を25.1%に引き下げる。



主催者の挨拶をする渋谷会長



来賓の挨拶をする山下課長



乾杯の音頭をとる前村室長



第3弾浮世絵缶を披露する広浜委員長



中締めて挨拶する定村副会長

2つ目は緊急経済対策に続き、1月9日には今年度の補正予算案が閣議決定された。企業体力向上のため補助率を高め、簡易な申請手続きの省エネ補助金などが盛り込まれたので活用されたい。この1年、一般缶業界にとって発展の年となることを祈念する」と挨拶した。



会場には176名が参集

際線カウンターに一般缶ののぼりを立て、一般缶の法被を着て、一般缶のハチマキをして景気よく浮世絵缶を無料で配ってみてはどうか」と挨拶し、乾杯の音頭をとった。

このあと「ほわっと・カンカンコミュニケーション」を通じて行った第3弾浮世絵缶

次いでJFESスチール株式会社缶用銅板営業部缶用銅板室の前村和宏室長が「一般缶の熱意ある需要拡大の取り組みに対し心から敬意を表する。女性の意見を積極的に反映させようとする試みを今後も継続していただきたい。一方で、このところ第1弾、第2弾の売れ行きがあまり芳しくないそうだが、消費者向け販売の専門家から、もう少し高めの価格設定をしたほうがいいと言われた。今後広く一般缶をアピールするには、例えば成田空港国

ッキー缶デザインの投票結果について、全日本一般缶PR活動推進協議会の広浜泰久委員長から「投票総人数は707名。デザイン候補3案のうちA案（赤富士）が全体の半数近い347名から支持された。よって第3弾は横型でサテン材を使った『赤富士』に決まった」と報告し、デザインを施した缶を両手に掲げながら披露し、4月1日からの購入協力を呼びかけた。歓談のち、定村光副会長の中締めで散会した。

一般缶友会

平成25年度通常総会を開催

一般缶友会は平成26年8月21日、東京都中小企業振興公社議室で平成25年度通常総会を開催した。出席者は22名。

二橋英之副会長の司会進行で始まり、齋藤光由会長が挨拶し、井上明副会長が出席状況報告を行った。議長に齋藤会長が選ばれ、平成25年度事業報告及び決算報告承認の件、平成26年度事業計画及び収支予算決定の件、会則一部変更の件が上程され、それぞれ原案通り決定された。

役員改選の件では、理事・監査役とも全員再選された。

理事 齋藤光由・井上明・二橋英之・小林達生
神宮善太郎・江連一・山本健士・鳴原邦明
監査役 山田裕人

総会終了後の理事会で、会長に齋藤光由（再任）、副会長に井上明、二橋英之（再任）が選任された。井上副会長の閉会の辞で散会した。

インタビューから需要創出のヒント

全日本一般缶工業団体連合会は、平成26年9月17日、女性消費者とのコミュニケーション活動を展開する場として「ほわっと・カンカンコミュニティ」を発足させた。コミュニティの名称は「WHATT CAN CAN」「ホワット・カン・キャン」（缶に何ができるか）にかけて命名。多様な価値観を持つ30代から60代の女性をメンバーとし、一般缶に関する生の声を聴取するなどして、多様な消費者ニーズを的確に把握し、需要創出を図るのがねらい。

7東ビルで、メンバー9名によるグループインタビューを実施した。一般缶のイメージ、商品購入目的・選択理由、リユース、リサイクル、売れ筋商品のアイデアなどについてインタビューした。このヒアリングで得た情報を各社に働きかけ市場が減りつつある一般缶の新たな需要創出をめざす。

第2の活動として、平成26年12月5日から平成27年1月10日の期間で、女性消費者を対象に第3弾浮世絵クッキー缶のデザイン投票キャンペーンを実施した。



グループインタビューの様子

第2の活動として、平成26年12月5日から平成27年1月10日の期間で、女性消費者を対象に第3弾浮世絵クッキー缶のデザイン投票キャンペーンを実施した。

「ほわっと・カンカンコミュニティ」要綱

(名称及び組織)

第1条 この組織は、ほわっと・カンカンコミュニティと称し、この目的に賛同する女性消費者をもって構成する。

(目的)

第2条 ほわっと・カンカンコミュニティは、一般缶に関する情報発信及び一般缶の需要創出を促進するため、女性消費者が参加できる取組みを企画し、業界の枠を超えたアイデアやヒントを見出し、もって一般缶の普及啓発と発展に寄与することを目的とする。

(事業)

第3条 ほわっと・カンカンコミュニティは、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 女性消費者、報道関係者、デザイナー等専門家を対象とするヒアリング、インタビュー等の実施
- (2) 新商品の企画及び開発並びにこれらに関連する各種イベントの実施
- (3) ニュースリリース及びホームページでの活動報告
- (4) 前各号に附随する事業

(参加資格等)

第4条 次の各号のいずれかに該当する者であれば、前条の事業に参加することができる。

- (1) 一般缶を愛する女性
- (2) 一般缶に興味のある女性
- (3) 一般缶の魅力や良さを伝えたい女性

2 前条の事業に参加した者は、一般缶に対する要望や辛口意見を自由に述べるができる。

(語り部の派遣)

第5条 ほわっと・カンカンコミュニティは、どこへでも出張し一般缶の魅力を語る「語り部」を派遣することができる。

(事務局)

第6条 ほわっと・カンカンコミュニティの事務を処理するため、事務局を全日本一般缶工業団体連合会内に置く。

全日本一般缶工業団体連合会

第39回全国流通委員会・部会協議会を開催

大阪製罐清水社長が事例発表 短納期・小ロットをテーマに話し合う



熱心に討議する参加者

全日本一般缶工業団体連合会は、10月3日、大阪市淀川区のメルパルク大阪で第39回全国流通委員会・部会協議会を開催し

久委員長から「ほわっと・カンカンコミュニティ」の発足と女性消費者グループインタビューの実施、記者懇談会、「エコプロダクツ2014」への出展、第3弾オリジナル浮世絵缶、優CANレポートの発行について報告があった。

続いて清水雄一郎大阪製罐(株)社長から「情報発信の取組みについて」をテーマに発表があった。この中で清水社長は「自分たちにできることを発信すれば世の中が缶の価値に気付き出す！小さな発信がその第一歩」と力説した。

た。今回は西日本組合の当番で東日本組合、西日本組合、中部組合から34名が出席した。全体会議では、各組合代表による近況報告が行われた。中部組合の池田祥三理事長は「体感的に景気をウォッチすれば非常に良くない。4〜6月期は振るわず7〜9月期は更に悪く半ば休眠状態。自動車の国内生産は頭打ちの状態でこれが地域経済に悪影響を与えている」、東日本組合の定村光

引き続き総合グループ討議に移り、4グループに分かれ、「要求される短納期及び小ロットへの対応の是非と可能性」について討議した。最後にグループ代表から討議結果が発表された。

るいニュースがない。7〜9月期の売上はほとんどが前年比マイナス。消費税10%の引上げや極端な円安は我々にはプラス要因になっていない」、西日本組合の渋谷明彦理事長は「景況は東日本、中部と同じで、もう一つ元気がない。雇用問題では大阪の最低賃金が時給838円と高い。賃金体系をどうするか、悩ましいところがある」と報告した。また、全日本一般缶PR活動推進協議会の広浜泰

素材、プレス技術・機械、ブランディング各界から提言

東日本一般缶工業協同組合は平成26年11月27日、東京・文京区の鉄二健保会館で「一般缶モノづくりシンポジウム」を開催し、組合員、特別会員、協力会員、協賛会員など66名が参加した。第1部はJFEスチール株式会社缶用鋼板セクター部長の吉岡修氏が「缶用鋼板製造技術と取り巻く環境について」と題し基調講演を行った。第2部はパネルトーク。山本泰則教育技術委員長がナビゲーターを務め「一般缶の明日を拓くモノづくり戦略」をテーマに4人の識者により討論が展開された。(司会は大戸部伸寿教育技術副委員長)

■パネルトーク

山本 「一般缶」に関するモノづくりについて。

吉岡 我々のブリキ商売は、飲料缶、18リットル缶、一般缶の需要に支えられて成り立っている。スチールの良さのアピールが我々には足りない部分もあるが、一般缶の業界団体には、もっと頑張っていたら、積極的に異業種分野にも参入していただければ、需要も喚起できていいと思う。

山口 プレス加工業は指示通りに作る受注産業だから自分たちの意匠をなかなか出せない。要求されるのはコストである。缶について「要」「不要」ということを考えてみた。

例えば缶ビールを飲んだあと、その缶を取って何かに使おうという気にはならない。ところが綺麗な缶なら残しておいて何かに使おうと思うので「要」になる。もし「不要」のものとなれば、それはビール缶のようにコスト迫及型となる。皆さんに

必要なのは一般缶をどう提案できるかだ。

山崎 弊社は総合ブランディング事業として、グループ会社を通じてデザイン、人材育成、映像制作、Web構築、販促品などのオリジナル商品開発等に取り組んでいる。福岡ソフトバンクホークスマーケティング様の導入事例では、各選手をキャラクター化した商品を企画しコレクション性を高め毎年リピーターのお客様がマンネリしない世界観を作り出している。様々なストーリーを作り上げることによって一人当たりの単価、購買率を高めている。ただし80アイテム中、缶商品は2つしかない。缶容器では版代や

ロット数が合わない理由で数多く取り組めないのが実情だ。

徳永 大きなテーマとして製缶工場の無人化がある。ITでは、その技術を製缶機械に組み込むことで、生産リードタイムの短縮や生産コストの低減等が見込める。今までの勘や経験ではなくデータ分析から判断が可能だ。3Dプリンターについては、セクター製造会社が袖の部分と胴体の部分を縫い合わせる工程がなく一体で製造できる機械を世界で初めて作ったという話を聞き、最近注目している。そのほか、レーザー加工技術は製缶業界でも活躍できる技術と思われる。工場が無人化されれば「品質と低コストの両立は大量生産でなければ実現できない」という常識を覆し、多品種少量の製品を量産並みのコストで作る道が開けると思う。

山本 生産現場での「経験と勘」をどうとらえるか。

山口 自分たちがノウハウだと思っている部分は実は「経験と勘」でやっていること

●積極的に異業種分野へ参入して需要喚起を(吉岡氏)

●「経験と勘」の技術は常に数値化する努力を(山口氏)

●逆転の発想で新たな缶の優位性を創造する(徳永氏)

●ターゲット狙い、ストーリーを作り、商品開発(山崎氏)



白熱した討論が行われた壇上の様子

が多いので、これを数値化していく努力が常に必要な。情報の5Sというイメージで工場の工程に取り入れてやれば、数値化できることは結構ある。新しい開発を手がけるときは、まず経験で作り上げ、それが安定したら数値化することだ。

山本 安定した商品を作るための5S活動の事例について。

吉岡 製鉄業では、エリアを区分して、そこに「このクリーン度は私が保証します」というオペレータや担当者の写真を立てておき、自覚させて、綺麗にするという手法がよくとられている。それで職場間、個人間の競争意識ができて結果的に全体が綺麗になり、5Sがきっちり成る。

山本 機能だけではなくて、買いたくなるような商品を提案する秘訣は。

山崎 第一条件は売り先のターゲットを決めることだ。決して妥協せず、例えば子供向きか大人向きか、男性か女性か、その地域ごとにターゲットを絞った方が間違いなく売れると思う。できれば違うターゲットを目安に別の商品を作ることでもいい。さらに売場を見てストーリーを作りデザインを含め形にもこだわり、そこできか買えないという付加価値を生み出していくことだ。

山本 缶モノが少ない理由に納期的な問題もあるか。

山崎 ええ。ソフトバンクの例では、「優勝しました」と、負けてもいのように「応援ありがとう」という2つの商品を事前に作っておく。その前のトーナメントシーズンもあるので、1ヶ月位の間で判断する。缶容器の場合、版を作りお菓子を詰める作業を計算すると納期的に間に合わなくなり、止むを得ず紙箱になる。

山本 少量多品種に対応する自動化について。

徳永 我々の今後機械に求められるのは、生産スピードではなく、少量多品種にどう対応するかだ。例えば今まではスクロールカットしたものは、系ごとに金型が必要であったが、それに対しファイバーレーザーでカットすると、いろんな系に一台の機械で対応できる。

山本 金型を3Dプリンターで作れるか。

徳永 製缶業界では、3Dプリンターでサンプル缶や金型自体まで作れると思う。

山口 金属パウダーを使えば、金型を加工しやすくなる。ただし金型を作る材質に

パネラー略歴

吉岡 修(よしおか おさみ)氏
JFEスチール株式会社 缶用鋼板セクター部長
1956年山形県生まれ。北海道大学機械工学科卒、NKK(株)入社。JFEエンジニアリング(株)を経て現職。



山口文雄(やまぐち ふみお)氏
すみだ中小企業センター 企業相談員
1946年埼玉県生まれ。松原工業(株)、型研精工(株)を経て1982年山口設計事務所を設立。現在に至る。



山崎 遊(やまざき ゆう)氏
株式会社エスプライド 取締役
1979年東京都生まれ。高校卒業後にワシントン大学進学。2009年(株)エスプライド入社。ディレクションを手がける。2009年から現職。



徳永朋丈(とくなが ともたけ)氏
株式会社三友機械製作所 取締役副社長
1980年静岡県生まれ。国際基督教大学卒。インドニューデリー現地の公認会計士事務所、三菱重工業(株)、デロイトトーマツコンサルティング(株)を経て現職。



ナビゲーター略歴

山本 泰則(やまもと やすのり)氏
東日本一般缶工業協同組合 常任理事
1965年大阪府生まれ。大阪外国語大学卒。1994年4月(株)東都製缶入社。2007年同社代表取締役。2013年5月から現職。



適合したパウダーがまだ出てないので、樹脂金型のようなものであればできるが、金属に関してはまだ少し先になると思う。

山本 保存の効く容器に対する要求が高まっているが、素材の面からどうか。

吉岡 ペットボトルだと空気を通し酸化するが、スチールはそうならない。ペットボトルの古いウーロン茶を買うと、赤くなっている。あれは空気が通っているからだ。今は、バリア性を持たすという意味では、スチールが一番安くて良いモノだと思う。

山本 プレス缶で密閉性を高くすると開けづらなるという矛盾をどう解決するか。

山口 難しい問題だ。ストレートだとそうなるが、少しテーパーにすればいい。要するに、入り口が先端に行くと細くなっている。テーパーは、ちょっと外れるとすぐ隙間ができるので簡単に外れる。ただし材料には方向性により変形の仕方が違う。

山本 缶づくりの新しいアイデアは。

徳永 缶は漏れなくて、密閉性が高くて頑丈だというのが一般的なアドバンテージだ。逆にクッション性のある缶とか、アドバンテージと思われる部分から離れて考えることも新しい可能性を探る機会だと思う。

吉岡 クッション性を持たせる缶というテーマで考えると、従来の発想から離れて異業種とコラボして、例えばマイクロカプセルを使って開発すれば、新しい缶を生み出せる可能性はある。

山本 スチールの良さをどうPRするか。

山崎 お奨めはキャラクターを使うことだ。キャラクターに魂を入れて、生きている感じで世界観を作る。キャラクターが宣伝広告隊となり、日本全国を回り、一般缶の魅力のなところをPRする。柔らかな切り口でキャラクターが発信することで幅広い年齢層に受け入れてもらえると思う。

4S会会議開催

西日本一般缶工業協同組合

4S会会議は、平成26年10月9日、尼崎市のホップインアミングで開催された。関西地区の西部十八リットル缶工業組合、大阪金属印刷工業協同組合(幹事)、西日本一般缶工業協同組合と西日本クラウンズ会(旧西日本王冠キャップ組合)から18名が出席した。

第1議題として各組合の業界状況並びに関連諸問題について話し合われた。業況及び鋼材状況では、「鋼材の値段が今後どうなるか読みにくい」「今後鋼材動向には注目」「消費税の影響もあるが、円安等、ガソリン代や物流関係の費用も注目」「缶から紙箱への移行を促されるところもある」との意見が出された。缶のPR活動では、全日本連合会の缶PR活動としてオリジナル浮世絵クッキー缶の第1弾、第2弾を販売中であり、今後、第3弾を予定している」と報告された。

第2(情報交換)第3(その他)議題として、各組合役員による業界の現状、課題、活動について情報交換が行われた。一般缶組合からは、ソーシャルネットワークの活用について、「ホームページで自社製品等を全国に発信してPRし、要望を聞いたり注文を受けている」「缶についての情報収集等幅広く活用し、今後の拡大に期待している」と報告された。品質の懸念については「厳しい環境にあるが、収益拡大に大きく影響を与える品質管理はどこまで受け入れられるか」「品質は価格に比例すべきでは」との意見が出された。

業界の活動情報 メディアに積極発信

全日本一般缶工業団体連合会は、平成26年10月22日、同連合会事務所で記者懇談会を開催した。これは一般缶業界の活動情報を報道関係者（メディア）に広く発信し、その理解を促すとともに取材機会を増やしてもらう狙いで企画した。当日は毎日新聞、東京新聞、東京スポーツ新聞、月刊ぎふと、地域産品ジャーナル、教育家庭新聞から記者7名が出席した。

懇談会では、一般缶製造業の生産・

出荷状況、雇用・原材料・製品市況等の動向について説明した。また女性消費者とのコミュニケーション活動を展開する「ほわっと・カンカンコミュニティ」の発足とグループインタビューの結果や、2013年から業界で初めて開発したオリジナル浮世絵クッキー缶の目的、これまでの成果や2015年4月に販売予定の新製品について紹介した。

このあと、記者との意見交換が行われた。

全日本一般缶工業団体連合会

第3弾オリジナル浮世絵クッキー缶 デザイン・商品名は「赤富士」に決定!! ～平成27年4月1日発売～

全日本一般缶工業団体連合会は、平成27年1月16日に開催した全日本一般缶PR活動推進協議会で第3弾オリジナル浮世絵クッキー缶のデザインと商品名を『赤富士』に決定した。

これは平成26年9月に発足した「ほわっと・カンカンコミュニティ」で平成26年12月5日から平成27年1月10日の期間に、女性限定で実施したデザイン案投票の結果によるもの。内訳は、得票総数707票、うちA案（赤富士）347票、B案（日本橋）165票、C案（写楽）195票であった。全体の半数近い方から支持されたA案（赤富士）を採用し、本年4月1日から発売する。



第3弾浮世絵デザインに決まった「赤富士」

「エコプロダクツ2014」に出展 多くの来場者に一般缶をPR!

全日本一般缶工業団体連合会は、平成26年12月11日～13日までの3日間、東京ビッグサイトで行われた「エコプロダクツ2014」にスチール缶リサイクル協会、全国十八リットル缶工業組合連合会と共同出展した。当ブースでは「スチール缶はリサイクルの優等生」を掲げ「一般缶」「飲料缶」「十八リットル缶」を展示した。また当ブースには5千人近い方が来場され「スチール缶リサイクルクイズ」に挑戦した。今年は小学生のグループが若干少なめであったが、初日から社会人も多く、最終の土曜日は家族連れでにぎわった。



終日にぎわったスチール缶ブース

平成26年5月～11月までの一般缶生産出荷実績 (単位:t)

	年 月	生 産	出 荷		在 庫
			販 売	その他	
経済産業省データ	26. 6	4,518 (5,782)	4,528 (6,019)	113 (103)	6,882 (7,668)
	7	4,277 (5,715)	4,365 (5,722)	103 (96)	6,757 (7,565)
	8	3,823 (5,263)	3,740 (5,366)	142 (128)	6,691 (7,333)
	9	4,701 (5,640)	4,377 (5,470)	72 (141)	6,982 (7,437)
	10	5,544 (6,641)	5,360 (6,364)	122 (140)	7,057 (7,554)
	11	5,621 (6,955)	5,480 (7,132)	443 (175)	7,517 (7,210)
連合会データ	26. 6	3,775 (3,758)	3,666 (3,669)		4,317 (4,101)
	7	3,748 (3,842)	3,844 (3,794)		4,215 (4,103)
	8	3,516 (3,564)	3,354 (3,487)		4,269 (4,105)
	9	3,798 (3,791)	3,737 (3,653)		4,355 (4,166)
	10	4,315 (4,534)	4,248 (4,483)		4,420 (4,167)
	11	4,242 (4,635)	4,354 (4,759)		4,267 (4,036)

()内は前年同月実績

経済産業省データは同省大臣官房調査統計グループ缶工業動態統計室編鉄鋼統計月報より転載

謹賀新年

(順不同)

新日鐵住金株式会社

代表取締役社長 進藤孝生
東京都千代田区丸の内二一六―一
電話〇三(六八六七)四一一一

JFEスチール株式会社

代表取締役社長 林田英治
東京都千代田区内幸町二二―三
日比谷国際ビル
電話〇三(三五九七)三一一一

東洋鋼鈑株式会社

代表取締役社長 隅田博彦
東京都千代田区四番町二二―二
電話〇三(五二一一)六二一一
FAX〇三(五二一一)〇一八一

北海製罐株式会社

代表取締役社長 久保田裕一
東京都千代田区丸の内二一―一二
丸の内三井ビル
電話〇三(三二二三)五一八〇
FAX〇三(三二二三)五一二六

全日本一般缶工業団体連合会

会長 渋谷明彦
副会長 定村光
副会長 池田祥三
東京都台東区台東一六―六
第一古茂田ビル2F
電話〇三(五八一七)七三三八

東日本一般缶工業協同組合

理事長 定村光
東京都台東区台東一六―六
第一古茂田ビル2F
電話〇三(五八一七)七三三八
FAX〇三(三八三一)九三五〇

西日本一般缶工業協同組合

理事長 渋谷明彦
大阪府大阪市北区天神橋一四―一七
千代田第一ビル
電話〇六(六三三三)一九七三
FAX〇六(六三三三)一九六七

中部製罐工業協同組合

理事長 池田祥三
愛知県瀬戸市安戸町一三―八
電話〇五六一(八四)四八五八
FAX〇五六一(八四)四八五八

全日本金属印刷工業協同組合連合会

会長 中田正和
東京都墨田区業平一―二六
本所ビル二階
電話〇三(三六二六)二四一一
FAX〇三(三六二六)二五〇二

東京都鋳力地金商業協同組合

理事長 國分滋
東京都中央区日本橋大伝馬町一―七
電話〇三(三六六三)八三五七
FAX〇三(三六六三)八三五八

寺島製缶工業株式会社

代表取締役 定村光
東京都葛飾区立石二―二五―一
電話〇三(三六九三)〇八四一
FAX〇三(三六九四)七七五九

株式会社ヒロハマ

代表取締役社長 本多三郎
東京都墨田区石原二―二八―一
電話〇三(三六二五)一六八〇
FAX〇三(三六二五)一六八八

エヌエス金属工業株式会社

代表取締役社長 中田則彦
茨城県つくば市緑ヶ原四―六
電話〇二九(八四七)七二二〇
FAX〇二九(八四七)六七七九

江戸川製罐株式会社

代表取締役 加島裕
東京都江戸川区平井五―四六―九
電話〇三(三六一二)四一三一
FAX〇三(三六一七)五〇三四

金方堂松本工業株式会社

代表取締役社長 竹内雅夫
東京都台東区東上野一―二八―一二
電話〇三(三八三三)一一九一
FAX〇三(三八三三)七二四四

齋藤製罐株式会社

代表取締役 齋藤光由
神奈川県横浜市瀬谷区本郷
電話〇四五(三〇一)五九一一
FAX〇四五(三〇一)五九三五

株式会社神宮製作所

代表取締役 神宮善太郎
千葉県野田市上三ヶ尾二六―一
電話〇四(七二二五)一二六一
FAX〇四(七二二五)三六三七

杉浦製罐株式会社

代表取締役 杉浦由記夫
茨城県守谷市百合ヶ丘二―四八―七
電話〇二九七(四八)二五五一
FAX〇二九七(四八)二五五二

東邦金属工業株式会社

代表取締役 澤田武史
東京都江戸川区松島四―三七―六
電話〇三(三六五四)八九一一
FAX〇三(三六五五)七三四八

中川製罐株式会社

代表取締役社長 中川太郎
東京都文京区湯島三―一六―一三
電話〇三(三八三六)〇六九一
FAX〇三(三八三六)〇六九三

日進製缶株式会社

代表取締役 小黒保満
埼玉県八潮市南後谷五〇八―二
電話〇四八(九三三)三五六一
FAX〇四八(九三三)一八四九

水戸部製缶株式会社

代表取締役社長 水戸部伸寿
東京都千代田区神田和泉町
電話〇三(三八六六)一一六六
FAX〇三(三八六六)二三八八

明和金属工業株式会社

代表取締役 渋谷明彦
大阪府高石市取石七―五一―六
電話〇七二(二七四)一一〇一
FAX〇七二(二七四)六三六五

三国金属工業株式会社

代表取締役 辻 巨彦
大阪府豊中市豊南町西四―七―二〇
電話〇六(六三三三)〇二五一
FAX〇六(六三三四)〇二五五

平和製罐株式会社

代表取締役 中田成一
大阪府大阪市中央区道修町
電話〇六(六二三三)二二八八
FAX〇六(六二三三)二二八九

生野金属株式会社

代表取締役 小西康晴
大阪府高石市高砂三―二四
電話〇七二(二六八)〇七七七
FAX〇七二(二六八)〇七八二

江戸川製罐工業株式会社

代表取締役 渡邊静雄
大阪府大阪市鶴見区今津北
電話〇六(六九六八)六七六一
FAX〇六(六九六二)三二五八

大阪製罐株式会社

代表取締役社長 清水雄一郎
大阪府東大阪市岩田町二―三―二八
電話〇六(六七二三)五五四五
FAX〇六(六七二五)三四七〇

謹賀新年

(順不同)

日西製罐株式会社

代表取締役 矢谷 満里子

大阪府大東市御領三―五―二〇
電話 〇七二(八七四)〇九七一
FAX 〇七二(八七五)四二五二

中村商事株式会社

代表取締役社長 中村 定

東京都千代田区神田和泉町一―七一
電話 〇三(五六八七)五九一一
FAX 〇三(五六八七)六一五五

東都金属印刷株式会社

代表取締役 菅谷 誠一

千葉県船橋市小野田町一五二―一三
電話 〇四七(四五七)五四六一
FAX 〇四七(四五七)七二三八

株式会社N・P・W技研

代表取締役社長 山本 健士

三重県伊勢市佐八町八九四
電話 〇五九六(三九)一一三三
FAX 〇五九六(三九)一一三六

奥村製罐株式会社

代表取締役 奥村 清司

京都府綴喜郡井手町大字多賀
小字西松ヶ花一
電話 〇七七四(八二二)〇七八
FAX 〇七七四(八二二)四三二四

山雄製缶工業株式会社

代表取締役 山本 浩之

大阪府大阪市北区大淀中
五―一―二四
電話 〇六(六四五)五一四一
FAX 〇六(六四五)〇八二一

明邦鋼業株式会社

代表取締役社長 田中 康

埼玉県越谷市新川町一―一四五
電話 〇四八(九八七)〇七〇一
FAX 〇四八(九八七)〇七三〇

富安金属印刷株式会社

代表取締役 菊井 治

埼玉県草加市苗塚町五七七
電話 〇四八(九二五)一五八一
FAX 〇四八(九二八)二六二〇

松本金属工業株式会社

代表取締役 松本 勝俊

大阪府大阪市北区天満二―一二―八
電話 〇六(六三三)〇九四一
FAX 〇六(六三三)九四四九

下宮金属工業株式会社

代表取締役 下宮 正裕

大阪府堺市堺区南島町三―一三一
電話 〇七二(二二三)八一二〇
FAX 〇七二(二二三)八一四〇

有限会社山野初製缶所

代表取締役 木下 光美

大阪府八尾市太田七―一〇
電話 〇七二(九四八)〇五五八
FAX 〇七二(九四八)二八五五

スチールリーフ株式会社

代表取締役社長 茂木 孝之

東京都葛飾区亀有五―四八―一五
電話 〇三(三六二)〇八〇三〇
FAX 〇三(三六二)〇八〇六〇

二橋プリント株式会社

代表取締役 二橋 英之

埼玉県三郷市彦川戸一―三八―六
電話 〇四八(九五三)二三六一
FAX 〇四八(九五三)五四二一

株式会社井上博商店

代表取締役社長 井上 紀人

大阪府大阪市住吉区万代東
一―一―四〇
電話 〇六(六六九)一一二五
FAX 〇六(六六九)一一二七

新高垣製缶株式会社

代表取締役 高垣 悦夫

奈良県天理市永原町五五
電話 〇七四三(六七)三一三一
FAX 〇七四三(六七)三一四一

株式会社ライトハウス 金属工場

代表取締役 岩橋 徹

大阪府大阪市鶴見区今津中
二―四―三四
電話 〇六(六九六)〇四四一
FAX 〇六(六九六)二二九八

エイコー株式会社

代表取締役社長 菊井 治

埼玉県草加市苗塚町五七七
トミキンビル1階
電話 〇四八(九二二)八三七三
FAX 〇四八(九二二)八三七五

株式会社城北鍼力 印刷工業所

代表取締役 竹腰 忠臣

千葉県野田市木間ヶ瀬二五〇―一―
電話 〇四七(一九八)二六一一
FAX 〇四七(一九八)二七七九

新キヨイ鋼業株式会社

代表取締役社長 渡邊 治樹

大阪府松原市三宅西四―五四三―一
電話 〇七二(三三三)二一八一
FAX 〇七二(三三三)〇二五二

善友金属株式会社

代表取締役 馬場 康之

大阪府大阪市淀川区加島
四―一〇―四四
電話 〇六(六三〇)四〇三一
FAX 〇六(六三〇)二一〇〇

高野興業株式会社

代表取締役 高野 康弘

東京都墨田区本所一―二―三
電話 〇三(三六二)一一六六
FAX 〇三(三六二)六二六四

株式会社MOBY

代表取締役社長 清野 泰樹

千葉県市川市塩浜一―一四
電話 〇四七(三〇六)〇二二〇
FAX 〇四七(三〇六)〇二二九

株式会社江連金属印刷所

代表取締役 江連 一

千葉県松戸市上本郷八一
電話 〇四七(三六二)〇一三五
FAX 〇四七(三六二)八七一五

是松鋼商株式会社

代表取締役 是松 重敏

大阪府東大阪市楠根二―六―三
電話 〇六(六七四)二二六六
FAX 〇六(六七四)〇四〇〇

光工業株式会社

代表取締役社長 吉田 富美男

広島県東広島市志和町冠一―六五―二
電話 〇八二(四三三)五四〇一
FAX 〇八二(四三三)五四五三

富安株式会社

代表取締役社長 強口 照雄

東京都墨田区太平四―一五―一五
電話 〇三(五六一一)七七七〇
FAX 〇三(五六一一)七七六〇

大成ブリキ印刷株式会社

代表取締役 中田 正和

茨城県稲敷郡河内町長竿富田四四六二
電話 〇二九七(八六)二二〇一
FAX 〇二九七(八六)二四二〇

新里機工株式会社

代表取締役 金澤 幸一

埼玉県川口市東領家四―七―一
電話 〇四八(二九二)九〇九七
FAX 〇四八(二九二)九〇九八

三幸商事株式会社

代表取締役社長 武田 有広

大阪府大阪市西区北堀江
一―二―一四
電話 〇六(六五四)三五八五
FAX 〇六(六五四)二四一五

謹賀新年

(順不同)

大貫金属工業株式会社

代表取締役 大貫賢充

東京都葛飾区東新小岩五―一七―二
電話〇三(三六九)六一七九
FAX〇三(三六九)六一七九

株式会社神光

代表取締役 小河 薫

大阪府吹田市南正雀一―二八―一
電話〇六(六三八)四四六六
FAX〇六(六三八)六〇一一

株式会社東伸金属印刷工業

代表取締役 佐郷 泰章

大阪府八尾市宮町三―四―七〇
電話〇七(九二三)〇九二一
FAX〇七(九二三)三八九一

日東金属工業株式会社

代表取締役 大久保 八城

大阪府八尾市太田七―一六
電話〇七(九四九)六七一一
FAX〇七(九四九)六七五九

株式会社伊賀井商店

代表取締役 大岩 憲正

愛知県東海市南柴田町ハの割
電話〇五(二六〇)五五九一
FAX〇五(二六〇)五五九五

株式会社愛罐コーポレーション

代表取締役 桑田 敬士

東京都渋谷区恵比寿南一―一六―一
電話〇三(五七二)五五五一
FAX〇三(五七二)五五五一

日本メタルプリント株式会社

代表取締役 大塚 吉弘

千葉県船橋市南海神一―八―一
電話〇四七(四三五)〇〇一一
FAX〇四七(四三三)九七六一

西部容器株式会社

代表取締役社長 川島 湊

大阪府摂津市別府二―三一―一八
電話〇六(六三九)一六五一
FAX〇六(六三九)七二二八

株式会社キャプテン

代表取締役 出崎 克

東京都中央区日本橋茅場町二―一―一
ビルックス茅場町四階
電話〇三(五六一)四七五五
FAX〇三(五六一)四四七七

◆東日本一般缶工業協同組合 C P S M 会

平成26年11月26日、鷹之台カンツリ

1 倶楽部で第56回CPSM会を開催し
今回の参加者は22名。
成績は次の通り。
優勝 依田安雄氏(城北鉄力印刷工業所)
二位 中村匡宏氏(神宮製作所)
三位 二橋英之氏(二橋プリント)
次回は平成27年4月15日、千葉カン
トリークラブ梅郷コースで行う予定。

◆西日本一般缶工業協同組合 缶友会ゴルフ会

平成26年10月16日、京都府の田辺カ

ントリ倶楽部で、晴天の下、第
144回ゴルフ会を開催した。
成績は次の通り。
優勝 武田和久氏(三幸商事)
二位 佐々木浩司氏(富安金属印刷)
三位 増田竜介氏(井上博商店)
次回は平成27年5月に行う予定。

平成26年8月から 平成27年1月までの行事

〔東日本一般缶工業協同組合〕

平成26年

第1回教育技術委員会

第2回流通委員会

事務局長協会・組合土協会「企
業等視察見学会」

東京中央会「組合運営懇談会」

東京中央会「中小企業トップ
セミナー」

第3回理事会(役員会)

東京中央会「上期情報連絡員
報告会」

第1回活路開拓委員会

組合土協会「研修会」

東京中央会「会長表彰式」

税務説明会

CPSM会会議

事務局長会「職員交歓会」

第57回CPSM会

一般缶モノづくりシンポジウム

組合土協会「役員会」

忘年会

第1回常任理事会

平成27年

東京中央会「新年賀詞交歓会」

東京都紙器工業協同組合「新年会」

第4回理事会(役員会)

事務局長協会「新年交流会」

〔西日本一般缶工業協同組合〕

平成26年

役員会

合同部会

4S会

缶友会ゴルフ

役員会

平成27年

〔東日本一般缶工業協同組合〕

平成26年

第35回優良従業員表彰式

平成27年

大阪金属印刷工業協同組合

「新年互礼会」

組合新春懇親会

合同部会・技術交流会

〔全日本一般缶工業団体連合会〕

平成26年

スチール缶連絡協議会

鉄鋼製品団体協会「幹事会」

第2回全日本一般缶PR活動

推進協議会

第3回全日本一般缶PR活動

推進協議会

第39回全国流通委員会・部会

協議会

スチール缶リサイクル協会

「記者発表会」

「エコプロダクツ2014」

WG会議

記者懇談会

第1回東日本PR活動推進協議会

スチール缶連絡協議会

鉄鋼製品団体協会「施設見学会」

典典制度説明会

13 エコプロダクツ2014

鉄鋼産業取引適正化ガイドラ

インWG会議

容器包装3R推進フォーラム

平成27年

三役年開始挨拶回り

ドラム缶工業会「新年賀詞交歓会」

全国十八リットル缶工業組合

連合会「新年賀詞交歓会」

第4回全日本一般缶PR活動

推進協議会

新年賀詞交歓会

スチール缶連絡協議会

〔一般缶缶友会〕

平成26年

会計監査

理事会

平成25年度通常総会・納涼会

理事会

忘年会

平成27年

新年会

〔東日本一般缶工業協同組合〕

平成27年2月からの

7月までの行事予定

第35回優良従業員表彰式

3/11 東京都紙器工業協同組合三役
懇談会

3/13 第5回理事会(役員会)

4/15 第58回CPSM会

4/17 監事会

4/24 第1回理事会(役員会)

5/19 一般缶生き残り戦略シンポジウム

5/19 第37回通常総会

7/3 第1回常任理事会

〔西日本一般缶工業協同組合〕

4/2 役員会

4/10 4S会ゴルフ

5/14 缶友会ゴルフ

5/21 第47期定時総会

7月上旬 合同部会

〔全日本一般缶工業団体連合会〕

2/5 鉄鋼製品団体協会「研修会・
新年会」

3/13 第5回全日本一般缶PR活動

推進協議会

3/13 理事会(役員会)

7/13 第37回定時総会

一般缶イノベーションフ

ラム2015

〔一般缶缶友会〕

2/13 研修旅行「新日鐵住金(株)
八幡製鉄所」

3/21 第9回ゴルフコンペ

組合伝言板

《代表者交代》

(東日本組合)

(株)同慶社

代表取締役社長 針谷俊二

平成26年7月

佐野製缶(株)

代表取締役社長 佐野正明

平成26年12月

水戸部製缶(株)

代表取締役社長 水戸部伸寿

平成26年12月

(西日本組合)

奥村製缶(株)

代表取締役社長 奥村清司

平成26年8月

(特別賛助会員)

東洋鋼板(株)

代表取締役社長 隅田博彦

平成26年6月